



建設分野 ACCESS 会員向け

特定技能外国人制度 の説明会



「仕事はあるのに人がいない」「若手が入ってこない」「ベテランの引退が続く」... 建設業界が抱える人材不足は深刻です。「特定技能」は、深刻な人手不足に直面している特定の産業分野で、即戦力となる外国人を受け入れるための在留資格です。建設分野もその対象です。制度の創設から6年がたち、多くの建設企業が特定技能外国人を活用しています。

建設分野で特定技能外国人を受入れる場合は「特定技能外国人受入事業実施法人」に加入することが求められています。ACCESS では「特定技能外国人」を受け入れたい組合員・賛助会員からの声に応え、2025 年 11 月 1 日に国土交通省認定の「特定技能外国人受入事業実施法人」である一般社団法人建設技能人材機構（JAC）に正会員団体として加盟しました。

しかし、「制度が複雑でよくわからない」「どこから手をつけていいかわからない」といった声も多く聞かれます。そこで本説明会では、特定技能外国人制度の基本から受入れまでの具体的な流れや注意点まで、JAC の担当者からわかりやすく丁寧にご説明いただきます。「外国人を雇用したいが不安...」「技能実習制度との違いは...」「特定技能外国人制度は難しくてわからない...」など、制度に関する悩みや疑問を持つ経営者の方にお勧めの説明会です。

12/10 (水)

受講無料

16:00-17:30



お申し込みはこちらから

<https://bit.ly/44fHZEG>

ACCESS の WEB サイトからお申込みできます

お申込締切：12 月 3 日（水曜日）



CHECK 1

特定技能外国人制度（建設分野）の概要

建設業で活躍する技能実習生の現状や、今後の建設技能者数の推移などを踏まえて、最新の外国人材の受入状況を紹介します。また、外国人材を活用する際の注意点やメリットなど事例を交えて、「特定技能外国人制度」の概要を解説します。



CHECK 2

特定技能外国人を受け入れるための手続き

建設分野の特定技能には他分野にはない独自の要件があります。受入企業は、JAC への加入、CCUS への登録、月給制の採用などの要件を満たした受入計画の認定を受ける必要があります。この受入計画を作成する際のポイントや JAC の事業概要等を事例を交えてわかりやすく解説します。



オンライン

Zoom ミーティング

*お申込後に Zoom ミーティングのアドレスをご登録メールアドレスにご連絡します

*受講のための電子媒体（PC、タブレットなど）は受講者側でご用意ください。

*PCのセキュリティソフトやネットワークの設定によりZoomの接続がブロックされる可能性があります。接続できない場合は会社などのシステム管理者様にご確認ください。



対面

航空会館ビジネスフォーラム

東京都港区新橋 1-18-1 航空会館 504 号室



CHECK 3

育成就労制度の創設、事例紹介等

就労を通じた人材育成および人材確保を目的とする新たな在留資格として育成就労の在留資格が創設されることとなりました。人材育成の評価方法、転籍などについての最新情報や過去の事例紹介をお伝えします。

